

日本科学者会議・関東甲信越地区 第8回シンポジウム 「どうなる日本 どうする日本」

自治体の主体的発展を考える —住民置き去りの民間委託の実態と問題点

政府・財界は、公共サービスを民間に開放する施策を矢継ぎ早に展開しており、私達の身近でさまざまな変化が起きています。住民本位の暮らし・産業を守り発展させるために、私たちは何ができるか、何をしなければならぬか、共に考えましょう。

日時：2019年10月13日（日）13:30～16:00

会場：埼玉教育会館（埼玉県庁前）104 会議室
（最寄り駅 JR 浦和駅西口 地図参照）



・講演：公共サービス「産業化」と地方自治の破壊
にどう立ち向かうか—PFI、民間委託、公共
施設再編の実態から—

講師：久保木 匡介氏

（長野大学 環境ツーリズム学部・地方自治論、行政学）

・事例報告（4件予定）

（1）日本の種子（たね）を守る—種子法廃止と埼玉県の対応
について：埼玉農民連会長・立石昌義氏（JSA 埼玉支部会員）

（2）私たち高倉地区から小学校、公民館、保育所がなくなる！？—「入間市公共施設マネジメント事業計画」をめぐる：小山正子氏（入間市在住、元小学校教員）

（3）神奈川支部から （4）茨城支部から

・総合討論

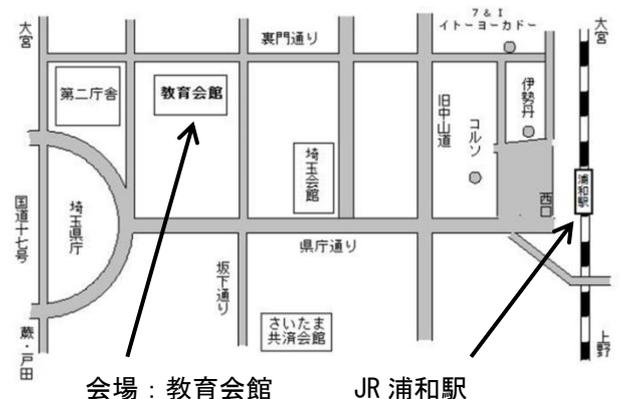
資料代：500円

主催：日本科学者会議関東甲信越地区ブロック※

問合せ先：日本科学者会議 〒113-0034 東京都
文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9F

Tel:03-3812-1472 Fax:03-3813-2363

E-mail: mail@jsa.gr.jp



※日本科学者会議は各県に支部があり、関東甲信越地区ブロックは、東京・埼玉・神奈川・山梨・長野・新潟・群馬・栃木・茨城・千葉のグループでまとまって活動をしています。